

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	おうらの森	所管課	環境森林部森林局林政課
指定管理者名	JA邑楽館林千代田町緑化組合	指定期間	3 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R5.4.1 ~ R8.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県邑楽郡邑楽町大字中野
指定管理業務内容	1 森林公園の施設等の使用の承認等に関する業務 2 森林公園の施設等の使用の承認の取消し等に関する業務 3 森林公園の休館日の変更等に関する業務 4 森林公園の開館時間の変更に関する業務 5 森林公園内における樹木、施設及び附属施設の維持管理に関する業務 6 森林公園のホームページを運営すること。 7 森林楽習講座に関する業務 ・森林に関する様々な話題をテーマに森林楽習講座を開催 ・年3回 ・1回2～3時間程度 8 おうらの森を活用した森林環境教育に関する業務 9 緑の相談室に関する業務 ・庭木の維持管理や病虫害の対処法、庭造りなどについて、専門知識を持った相談員による相談室の運営 ・毎週木曜日(祝祭日を除く)午前10時から午後3時まで 計50日間 10 緑化講座に関する業務 ・庭木や庭の手入れをテーマとした緑化講座を開催 ・県内7地域※(渋川、西部、藤岡、富岡、吾妻、利根沼田、桐生)で各1回以上、計20回実施 ・1回2時間程度 ※各環境森林・森林事務所の管轄区域 11 その他、森林公園の管理に関する事務のうち、知事が別に定める業務

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	2 人	
短時間雇用の職員:	2 人	合計: 4 人

3 収支の状況(令和7年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	14,630,000	人件費	9,567,023
借入金・雑収入	3,368	委託料	1,833,927
		光熱水費	604,801
		租税公課費	72,035
		その他(維持管理費、事務費)	2,569,529
収入合計	14,633,368	支出合計	14,647,315

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	37,340	35,715	38,007
②使用料収入(円) (県納付額)	12,460	9,790	7,230
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
緑化講座	21回/年 ※うち2回中止	494	年間の開催日・テーマ等を予め設定し、庭木の剪定等の内容で外部講師による講座を開催。 1講座平均で約23名の参加。	実演・実習により、有意義な時間になった。
森林楽習講座	3回/年	53	・春の平地林の自然観察会 ・夏の平地林の自然観察会 ・秋の平地林の自然観察会	わかりやすい解説で充実した講座だった。
みどりの相談室	51日/年 (毎週木曜)	105	毎週木曜日に外部講師及び職員の2名体制で、樹木等に関する個別相談を実施。相談方法は電話もしくは来園。	直接、先生と話ができるので、いろいろな質問ができ、助かりました。
自主事業 ヨガ教室	14回/年	317	講義室を利用したヨガ教室の開催	室内で行うため、天候に左右されず予定通り実施されることがありがたい。
自主事業 サマーフェスタ	1回/年	820	キッチンカー等による出店販売、バンド演奏、苗木配布	苗木配布や、バンド演奏など大変楽しかった。毎年の開催を望む。
自主事業 スタンプラリー	1回/年	100	多々良沼公園と共催。 多々良沼公園5か所、おうらの森1か所のチェックポイントを設置。	景品も設けられており、楽しかった。
森林環境教育(県事業)への協力	2回/年	80	中野東小5年生対象のフォレストリースクール事業の開催(6/3、11/7)。	自然観察を行い、そこで学んだ木の実を使った自然工作ができ充実した内容になった。
森林環境教育(県事業以外)への協力	7回/年	145	・指導者養成(NPO法人ぐんま緑のインタープリター協会) ・自然観察(NPO法人群馬県自然保護連盟) ・自然観察(太田良いとこ歩く会) ・野鳥観察(館林市) ・子育て支援学級(邑楽町) ・庭木剪定教室(長寿社会づくり財団)	

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(実施方法・回収率等)

アンケート用紙及びフォームによる記入。回答数:20件

(項目別回答集計)

①性別

男性	女性
55%	45%

②年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	未回答
20%	5%	0%	5%	20%	25%	25%	0%

③職業

学生	会社員	自営業	公務員	主婦	パート等	その他
25%	10%	5%	10%	10%	5%	35%

④住所

館林市	邑楽町	板倉町	明和町	千代田町	大泉町	その他(県内)	足利市	その他(県外)
25%	20%	0%	0%	0%	10%	35%	0%	10%

⑤来園頻度

ほぼ毎日	月数回	年数回	初めて
10%	25%	35%	30%

⑥利用目的(複数回答可)

散歩	運動	自然観察	野鳥観察	休憩	樹木・草花鑑賞	イベント	その他
32%	3%	24%	2%	12%	20%	7%	0%

⑦満足度

非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
45%	50%	5%	0%	0%

(利用者からの意見等)

- ・園内の庭木が手入れされており、綺麗と感じた。
- ・樹木名板がありわかりやすいが、名板が外れている樹木もあった。
- ・入口をわかりやすくしてほしい。
- ・園内のベンチの増設や、ベンチ・四阿の清掃を望む。

(調査結果分析)

来園者の半分が高齢者であり、散歩・草花等の観察を目的に来園される人が多い。

一般利用者や講座参加者の9割から満足と回答してもらえているため、引き続き維持管理に努めたい。

(調査結果への対応状況)

講座参加者のアンケート結果を参考に、講座内容を検討している。

園路整備やベンチの増設については、県と相談して改善を図りたい。

樹木名板やハチの巣駆除など、指定管理者が対応可能な事案には即時に対応している。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

ベンチ・四阿の清掃については、高圧洗浄機による清掃及び塗装等による対応をとった。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価（A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	B	指定管理者制度導入1期目であるが、サービス向上や課題改善に積極的に取り組んでいる。特に、地域との連携や自主事業の実施により、森林公園の利用拡大を図っている。	<評価できる事項> ・積極的な自主事業による利用者増加の工夫をしている。 ・スタッフの接客について、利用者から高い評価を得ている。 <改善すべき課題> 出張緑化講座について、中止となった回もあることから、安定した開催につながるよう、県と連携し、効果的な周知に取り組まれない。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	B
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	B
管理運営体制	B
法令遵守等	B
労働条件評価の実施	有

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	B
個人情報保護及び情報公開	B

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	自己評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	B	ホームページ・SNSの充実、地元ローカルTVの取材、近隣市町村との連携を図り、公園のPRを行い来園者の増加に努めることができた。
評価委員会の年度評価	B	サービス向上のための取り組みや、課題の改善を積極的に行っている。

注）「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。